

# 『地球・牛・人がしあわせに暮らせる世の中』を目指して 牛乳

発行No.23  
R7.6.12 発行

館山市九重地区

株式会社 須藤牧場

代表取締役 須藤 健太さん

須藤牧場は、大正時代に曾祖父の初代、須藤源七が牧場を立ち上げ、4代にわたり家族経営の牧場として、乳牛の飼育から乳製品の製造・販売まで一貫して行う六次産業を運営している。

小学2年生の頃、酪農体験受け入れをする両親を見て、就農決意。安房高校卒業後、北海道の農業専門学校に行き、20歳で家業へ就農。2023年5月に代表就任。

(株)須藤牧場は、令和2年度に「農林水産大臣賞」を受賞の他、「ちばガストロノミーAWARD」生産者部門にて大賞を受賞など数多くの賞を受賞。

品質はもちろん、酪農への取り組みも高く評価されている。



飼育している牛の種類について

ホルスタイン種とジャージー種100頭の飼育をしています。割合は、ホルスタイン種6割、ジャージー種4割となっています。

牛の特徴について

ホルスタイン種は、乳牛として世界で最も多く飼われている品種であり、搾乳量の多さが特徴です。ジャージー種は小柄ながら乳脂肪分が高く、ミルクは濃厚でコクがあります。一般的なホルスタイン種に比べ、味わいに甘味があり、クリーム層がしっかりとできるのが特徴です。

牛を育てる飼料は、自家栽培した原料を使用しています。飼料の品質を競うコンテストで3年連続最優秀賞を受賞した自慢の飼料です。良質な飼料を与え、乳牛の体調管理にこだわることで、ミルク本来の旨味が味わえる高品質で美味しい牛乳を作ることができます。

牛舎について  
牛を繋ぐずに、自由に暮らせる、「フリーストール牛舎」を採用しています。ごはんを食べる、歩く、寝るを広くとしたスペースで自由に過ごすことができます。放牧場も併設されていますので、繋ぎ飼いの牛舎と比較すると、牛がストレスを抱えることなく過ごせる環境となっています。自由な分、個体の管理は難しいですが、牛自身がエサを好きな量を食べられるので搾乳量の増加、発情行動が分かりやすくなることで、繁殖成績が向上するなどメリットが多いです。

また、一頭一頭に名前を付けて、名前を呼び、観察しながら、食べたいものや、居たい場所など細かなケアをすることで、生乳の品質向上へとつなげています。その結果、「関東生乳品質改善共励会」で、2年連続最優秀賞を受賞することができました。

○搾乳量について  
1頭につき1日約24〜28kg、年間約46万kg搾乳しています。

## 【購入可能な直売所】

『Calf Hatch Yohyo(カーフハッチヨーヨ)』

営業日：火-日 月曜定休

営業時間：11:00~19:00

住所：館山市安東 329-1

『道の駅グリーンファーム館山』

営業日：年中無休

営業時間：以下のとおり

マーケット 9:00~17:00

テナント 10:00~16:30

月曜日のみ機器メンテナンスのため

16:00閉店(月曜日が祝日の場合は翌営業日)

住所：館山市稲 274 番地

TEL：0470-29-7015

『須藤牧場 富浦店』

営業日：金土日祝

営業時間：10:30~16:00(金のみ11:00~)

住所：千葉県南房総市青木 123-1

## 【生シェイク祭り】

毎年6月1日から10月31日まで

『生シェイク祭り』を開催しています。

須藤牧場のアイスや牛乳を使った千葉県内の個性あふれる飲食店が独自のプレミアムシェイクを開発・提供しています。

参加店舗に置かれているQRコードの読み取り、または下記画像のシートへのスタンプの押印を3店舗以上集めると、参加店舗のクーポン券がランダムで発行されます！

詳細につきましては下記QRコードをご確認ください。



『生シェイク祭り』  
公式HP



現在力を入れている点や今後の展開  
長期的なファン作りをしたいです。現在、須藤牧場では、日本の酪農業が直面する課題の解決と一緒に挑戦するメンバーを募集しています。メンバーシップの会員は、乳製品が定期的に届いたり、オンライングループチャットで繋がったり、限定イベントを開催しています。

また、日本酪農発祥の歴史をPRする活動を続けていきたいです。現在、劇や講演形式で歴史を伝える活動をしています。今年からは、千葉県が日本酪農発祥と言われるキッカケとなった『白牛酪』という生キャラメルに似た乳製品もテーマに加えたいと考えています。

2025年5月に経済産業省登録の中小企業診断士になりましたので、資格を活かして異業種連携を強化したいです。国内で唯一の中小企業診断士・酪農家としてニーズに合わせた講演や研修を牧場内外問わず行っていきます。

この他にも、酪農経営の中で、人・牛・地球の苦しみを緩和させるといふ、これまでにない価値を創出したいです。人や牛で言うと、ストレス緩和や病気の予防。地球で言うと、土地の再生です。

こういった取組をしながら、中小企業診断士として農業者へ経営支援も行つことで、世界の農業の生産性向上へ貢献していきたいです。

消費者の皆様へ一言  
父は、「相互理解」を理念として、須藤牧場を理解していただくための発信と、地域の方や消費者の心を理解するための取り組みに注力していました。お客様の声から酪農体験やソフトクリームなどのサービスピログラクトが生まれたように、私も父の想いを引き継いで、消費者交流を大切にしたい牧場経営をしていきたいです。

一緒に、人も牛も地球も幸せな世の中を作っていきましょう。今だけや、100年先までという短いスパンではなく、永遠にすべてが幸せな社会を一緒に目指していきたいです。